

[学校教育目標]

「豊かな心を持ち、自ら学び、ともに生きる子の育成」

[めざす児童像]

[めざす学校像]

よく考える子（知）

素直で優しい子（徳）

元気で明るい子（体）

子どもと職員の「幸福感」があふれる学校

[重点目標]

＜魅力ある授業の創造＞

- ① 協同的探究学習の推進（わかりやすく楽しい授業、学びに向かう力の向上）
- ② ICT活用を通して「協同的な学び」「個別最適な学び」の推進
- ③ 基礎学力の定着、学力向上を図る授業づくり

知

＜心の教育の充実＞

- ① いじめを許さない学校づくり
- ② 個に応じた適切な支援・指導ができる特別支援教育の推進
- ③ 豊かな人間関係づくり（異学年交流・体験・福祉）
- ④ 道徳教育の充実と推進

徳

＜健康で安全な暮らし＞

- ① 体力・意欲の向上
- ② 安全・安心な暮らしづくり
- ③ 体験重視の安全・防災教育

体

＜地域とともにある学校づくり＞

- ① 地域の教育力の活用（「ため池」ふるさと学習プログラム等）
- ② ユニットによる校種間連携とコミュニティ・スクールの推進
- ③ 情報発信

地域

[具体的な取組]

- 授業における指導方法改善
  - ・協同的探究学習における「わかる学力」を高める授業スタイルの確立
  - ・1人1授業での研究授業の実施
  - ・協同探究を深めるための導入問題や追究型発問等の工夫についての研究
  - ・研究成果をリーフレットで配布
- 1人1台端末を活用した効果的授業実践を追究し、職員共有化を図る
  - ・「協同的な学び」と「個別最適な学び」の両面での実践を積極的に展開
  - ・教員のICT活用研修の実施
  - ・端末使用のさらなるスタンダード化（持ち帰り、課題提出、文房具化）
- 「家庭学習の手引き」を通して、家庭と連携して学習の習慣化を図る

- 未然防止、早期発見、早期対応に向け危機感をもって取り組む生徒指導
  - ・児童・保護者との「信頼関係」構築
  - ・組織対応の体制強化
  - ・居場所のある学級経営
- 2学級（特支）新設に伴い、学校の特別支援教育の一層の充実を図る
  - ・1人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実
  - ・支援を必要とする児童への理解に向けた啓発
- 学級・学校行事に積極的に取り組み、自覚を育み達成感が味わえる特別活動の推進
  - ・児童会活動の活性化、異学年交流を積極的に実施
  - ・児童朝会での各委員会発表の実施
- 道徳授業を中心に、児童の心に響く指導に努め、道徳的実践力を高める

- 体育学習・体育的行事の充実と推進を通して体力・意欲の向上をはかる
  - ・運動会、マラソン大会、プール指導の充実
  - ・目標を目指し、集団で伸びようとする力、粘り強く取り組む力の育成
- 保健指導、生活指導を通して、規範意識、基本的生活習慣の定着をはかる
  - ・親子で学ぶネットトラブル防止講座の実施
- 児童の危険予知能力、危機回避能力の育成
  - ・交通安全教室、避難訓練の充実
  - ・安全点検、危機管理マニュアル活用研修等の更なる充実と徹底

- 地域の教育力を活用した『「ため池」ふるさと教育プログラム』の推進（各種農業体験・かいぼり・カヌー体験）
- ユニット交流の積極的推進。
  - ・直接ふれあえる学年間交流の実施（学校規模適正化の流れを踏まえて）
  - ・ユニット連携のもと連続した学びと育ちの一層の充実をはかる。
- 学校運営協議会との連携・協働を強化し地域の特色を生かした学校運営を充実させる。
  - ・社会に開かれた教育課程の視点から意義や地域連携をさらに探究
  - ・カリキュラムマネジメント、キャリア教育の視点からも整理
- 学校情報を保護者・地域に発信
  - ・学校だより・学級だよりの発行
  - ・ホームページ更新（ほぼ毎日）
  - ・39メールの活用

＜教職員の育成・学校業務改善＞

- ミドルリーダーを核として、OJTや組織としての対応を通して教職員の指導力向上を図る。個々の目標設定のもと、PDCAサイクルで学校経営への参画意識向上を図る。
- タイムマネジメントに対する教職員の意識向上、定時退勤日（毎週金曜日）の徹底

[研究主題]

子どもの心が動く授業の創造 ～協同的探究場面における本質に迫るための追求型発問のくふう～